



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月15日

上場会社名 日本ペイントホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田堂 哲志
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 持田 由希子 (TEL) 06-6455-9140
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	148,171	9.1	15,417	△4.1	17,157	9.5	9,133	56.0
29年12月期第1四半期	135,780	—	16,074	—	15,665	—	5,856	—

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 △9,133百万円(—%) 29年12月期第1四半期 △2,397百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	28.48	28.47
29年12月期第1四半期	18.26	18.26

当社は、平成28年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成29年12月期第1四半期(平成29年1月1日から平成29年3月31日まで)と、比較対象となる平成28年12月期第1四半期(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	885,010	610,638	55.1
29年12月期	920,591	629,408	54.8

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 487,475百万円 29年12月期 504,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	20.00	—	22.00	42.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	22.00	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	310,000	6.3	33,000	△7.0	35,000	△4.3	15,000	△2.9	46.77
通期	650,000	7.4	78,000	4.1	82,000	6.7	35,500	△4.4	110.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年12月期1Q	325,402,443株	29年12月期	325,402,443株
30年12月期1Q	4,700,671株	29年12月期	4,700,301株
30年12月期1Q	320,701,961株	29年12月期1Q	320,703,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の対象期間は、平成30年1月から3月までの3ヶ月間です。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,481億71百万円（前年同期比9.1%増）となりました。連結営業利益は原材料価格上昇の影響を受け154億17百万円（前年同期比4.1%減）となりました。連結経常利益は、中国で環境規制に伴う工場退去の補助金収入などから171億57百万円（前年同期比9.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、寝屋川事業所閉鎖による土地売却に伴う特別利益を計上したことなどから91億33百万円（前年同期比56.0%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

《日本》

当地域では、自動車用塗料については、自動車生産台数が前年をわずかに下回るなか、高意匠・高付加価値塗料の出荷が好調に推移したことや、市場シェア拡大に努めたことなどから、売上高は前年同期を上回りました。工業用塗料については、建材向け塗料の出荷が市況の影響を受け伸び悩んだ結果、売上高は前年同期を下回りました。汎用塗料については、リテール領域などにおいて昨年来、市況が低調に推移するなか、新製品投入等により同領域の市場シェア拡大に努めたことなどから、売上高は前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は419億56百万円（前年同期比1.6%増）となりました。また、連結営業利益は102億53百万円（前年同期比12.8%増）となりました。連結営業利益には海外グループ会社からの受取配当金33億90百万円（前年同期は18億25百万円）が含まれております。なお、この受取配当金は内部取引として全額「セグメント間取引消去その他の調整額」として消去されます。

《アジア》

当地域では、中核地域である中国において、自動車用塗料の売上高については、中国系顧客向けの事業拡大などにより、前年同期を上回りました。汎用塗料の売上高については、販売促進キャンペーンを実施したことなどにより、前年同期を上回りました。工業用塗料の売上高については、建材向け塗料などの出荷が市況の影響を受け伸び悩んだことなどから、前年同期を下回りました。

中国以外のアジア地域では、自動車用塗料の売上高については、タイで日系顧客の自動車生産台数が増加したことなどから、前年同期を上回りました。汎用塗料の売上高については、シンガポールやベトナムにおいて好調に推移しました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は844億9百万円（前年同期比7.0%増）、連結営業利益は原材料価格の上昇による影響などにより、78億98百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

《米州》

当地域では、中核地域であるアメリカにおいて、自動車用塗料の売上高については、自動車生産台数の減少に加え、為替影響もあり、前年同期を下回りました。汎用塗料の売上高については、前年3月にDUNN-EDWARDS CORPORATION（以下、DE社）を連結子会社としたことから、計上期間が異なることもあり、前年同期を上回りました（前年同期は1ヶ月分のみ計上）。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は179億32百万円（前年同期比48.8%増）、連結営業利益は5億67百万円（前年同期比705.7%増）となりました。なお、前年同期はDE社取得時の関連費用を計上しております。

《その他》

当地域では、自動車用塗料について、自動車生産台数が減少するなか仏系顧客への出荷が好調に推移したことなどから連結売上高は38億73百万円（前年同期比8.6%増）、連結営業利益はプロダクトミックス悪化の影響などにより38百万円（前年同期比82.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して355億80百万円減少し、8,850億10百万円となりました。流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して97億82百万円減少しておりますが、主な要因は、売上債権が増加した一方で、現金及び預金や有価証券が減少したことなどによるものです。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して257億97百万円減少しております。主な要因は、償却に伴う商標権やのれんの減少、株価の下落による投資有価証券の減少などによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して168億11百万円減少し、2,743億71百万円となりましたが、主な要因は、借入金や繰延税金負債の減少などによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して187億69百万円減少し、6,106億38百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が減少したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.8%から55.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,007	93,239
受取手形及び売掛金	153,922	165,052
電子記録債権	15,402	14,816
有価証券	37,477	30,428
たな卸資産	68,406	68,044
繰延税金資産	7,278	7,400
その他	20,800	18,226
貸倒引当金	△4,394	△5,090
流動資産合計	401,900	392,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,029	63,203
その他（純額）	78,850	76,015
有形固定資産合計	142,880	139,218
無形固定資産		
のれん	197,051	184,812
商標権	61,870	58,222
その他	54,295	51,622
無形固定資産合計	313,216	294,657
投資その他の資産		
投資有価証券	57,619	54,088
繰延税金資産	1,143	1,137
その他	3,912	3,836
貸倒引当金	△82	△45
投資その他の資産合計	62,593	59,017
固定資産合計	518,690	492,892
資産合計	920,591	885,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,940	80,314
電子記録債務	22,380	20,694
短期借入金	25,354	26,310
未払法人税等	6,046	6,294
製品補償引当金	2,340	365
その他	63,150	64,059
流動負債合計	199,212	198,037
固定負債		
長期借入金	31,741	21,047
繰延税金負債	33,337	30,393
役員退職慰労引当金	191	177
環境対策引当金	264	298
退職給付に係る負債	17,398	17,140
その他	9,037	7,277
固定負債合計	91,970	76,334
負債合計	291,182	274,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	78,862	78,862
資本剰余金	63,262	63,262
利益剰余金	385,369	387,447
自己株式	△6,454	△6,455
株主資本合計	521,040	523,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,068	10,358
為替換算調整勘定	△25,387	△42,889
退職給付に係る調整累計額	△3,384	△3,110
その他の包括利益累計額合計	△16,703	△35,641
新株予約権	136	154
非支配株主持分	124,934	123,009
純資産合計	629,408	610,638
負債純資産合計	920,591	885,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	135,780	148,171
売上原価	79,818	89,844
売上総利益	55,961	58,327
販売費及び一般管理費	39,887	42,909
営業利益	16,074	15,417
営業外収益		
受取利息	295	245
受取配当金	95	135
持分法による投資利益	131	250
補助金収入	240	1,895
その他	740	517
営業外収益合計	1,503	3,043
営業外費用		
支払利息	228	287
為替差損	1,539	325
その他	144	691
営業外費用合計	1,912	1,303
経常利益	15,665	17,157
特別利益		
固定資産売却益	11	2,177
特別利益合計	11	2,177
特別損失		
固定資産除売却損	80	116
特別損失合計	80	116
税金等調整前四半期純利益	15,596	19,218
法人税等	5,298	5,816
四半期純利益	10,298	13,401
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,442	4,268
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,856	9,133

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	10,298	13,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,674	△1,656
為替換算調整勘定	△12,298	△20,453
退職給付に係る調整額	1,099	268
持分法適用会社に対する持分相当額	176	△694
その他の包括利益合計	△12,696	△22,535
四半期包括利益	△2,397	△9,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,816	△9,804
非支配株主に係る四半期包括利益	1,418	671

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	米州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,291	78,870	12,052	132,213	3,566	135,780
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,303	755	46	8,105	233	8,338
計	48,594	79,625	12,098	140,318	3,800	144,119
セグメント利益	9,093	8,516	70	17,680	220	17,900

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,680
「その他」の区分の利益	220
セグメント間取引消去その他の調整額	△1,826
四半期連結損益計算書の営業利益	16,074

(注) 「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

3. 製品及びサービスに関する情報

(単位:百万円)

外部顧客への売上高	金額	前年同期比(%)
塗料	131,215	—
自動車用	36,935	—
汎用	64,550	—
工業用	17,548	—
その他塗料	12,180	—
ファインケミカル	4,564	—
合計	135,780	—

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前連結会計年度において、決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、当第1四半期連結累計期間は比較対象期間が異なることから、対前年同期比については記載しておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	米州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,956	84,409	17,932	144,298	3,873	148,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,892	640	49	9,582	181	9,764
計	50,849	85,049	17,982	153,881	4,054	157,936
セグメント利益	10,253	7,898	567	18,719	38	18,758

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,719
「その他」の区分の利益	38
セグメント間取引消去その他の調整額	△3,340
四半期連結損益計算書の営業利益	15,417

(注) 「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

3. 製品及びサービスに関する情報

(単位:百万円)

外部顧客への売上高	金額	前年同期比(%)
塗料	143,422	9.3
自動車用	40,733	10.3
汎用	74,288	15.1
工業用	16,075	△8.4
その他塗料	12,325	1.2
ファインケミカル	4,749	4.0
合計	148,171	9.1

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。